

＜栃木県経済同友会 2022 年新年度号会報 新年度への抱負＞

コロナ禍後の社会でお役に立つ「教育サービスのイノベーション」を目指して

株式会社 開倫塾
塾長 林明夫

- 超少子化に加えコロナ禍による出生数の大幅減と、11 月末からの感染力と感染スピードの凄まじい「オミクロン型」の襲来などにも耐えられる「教育サービス」とは何かを徹底的に考えたい。
- 学習塾としては、すべての学力の原点である読解力を「辞書・新聞・読書に親しむ」ことから身に着けさせたい。自分が気に入った同じ本をしっかりと読む子ども、同じ本を何十回も読み、すみからすみまで自分のものとして活用できる力こそ、読解力・思考力・表現力育成の原点だからだ。
- 開倫塾は、2022 年から通信制高校慶風高等学校のサポート校「開倫塾高等学院」としての活動をスタートする。「通信制高校を選ぶのなら慶風高等学校を選んで頂けるよう、教え方日本一の通信制サポート校を目指したい。「特定技能」無期限で就業する外国出身の方々の「家族帯同」が認められたので、今後、そのお子様方の小中高での学習日本語、定期テストや入学試験などの「受験日本語」、更には高校進学・高校卒業資格取得・大学進学が社会的課題となる。慶風高等学校サポート校として大いに支援したい。
- 2018 年度に正式認可を受けた開倫塾日本語学校では、コロナ禍後を見据え、日本語能力検定 2 級取得後の進学先や勤務先がほぼ決まっている場合には、「キャリア教育としての日本語教育」を大幅に取り入れたい。専門学校に進学した後や仕事に就いた後に少しでも困らないよう、日本語学校の日本語教育として「仕事に用いる日本語」もできるだけお教えしたい。「5S」や日本での仕事の仕方も各々の職種ごとにお教えし、「日本語学校の中でのキャリア教育」に挑戦したい。今年もよろしく申し上げます。